

第3回 動物検疫所入札等監視委員会（議事概要）

開催日及び場所	平成20年5月27日（火） 横浜植物防疫所会議室
委員（敬略称）	鈴木委員長、吉武委員、青柳委員
審議対象期間	平成20年1月1日から平成20年3月31日
抽出案件	7件（競争入札5件、随意契約2件）
委員からの意見・質問、 それに対する回答	下記のとおり
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回 答
動物検疫情報データベースシステムの登録情報抽出業務	
応札者が1社しかなかったが、本来は、随意契約とすべきものだったのか。	データベースの構築なので、ある程度のデータベースの知識があれば、応札者があると思われ、一般競争とした。
医療用及び獣医用の機器類1式売買契約	
5,000万円の契約であるのに、応札者が2社のみというのは何故か。	官報掲載のほか、ホームページ等でも公示していることから、応札者が2社ということは、当方としても予想外であった。
メーカーを特定しているのか。	特定していない。
業者によって得意分野があるのに、まとめて契約したことによって、かえって、応札者を制限することとなり、安く購入できなくなっているのではないか。契約を分割する等、入札参加者の数を増やす工夫をすべきである。	今後、このようなケースがある場合は、分割契約等も考慮に入れ契約を進めたい。
スキャナ50台他購入	
このスキャナの供給可能業者は何社か。デモは、どこの製品で行ったか。他社は行わなかったのか。予定価格はどのようにして作成したか。	2社である。 デモは、納品されたメーカーのみである。予定価格は市況を調査して作成した。
動物検疫所の課題	
①入札にあたっては、多くの参加があるよう契約の方法等を工夫すること。②経費節約の観点から、リース可能なものを検討すること。③予定価格の算定資料を、審査資料に添付すること。	今後、委員のご意見を踏まえ、契約事務にあたって参りたい。